

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1590回例会

令和元年 7月11日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト ●日も風も星も

○スマイルBOX

- 中目公英会長（本日の午前中は、街頭献血キャンペーンに出席してきました。齋藤社会奉仕委員長を始め、参加協力していただいた皆様、ありがとうございます。永野会員、100%出席おめでとうございます。）
- 永野文雄会員（本年度の五大部門・小委員会の会長さん、一年間よろしく。堀田副幹事さん、ご苦労様です。）
- 鳴島三夫会員（例会出席100%表彰、ありがとうございます。今年も引き続き100%をめざします。商品は高級ケシゴムではありませんでしたが、ありがとうございました。）
- 成井正之会員（本年度はロータリー情報委員会として、頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。）
- 金田昇会員（今日は出欠の連絡をわすれました。次回から注意いたします。）

▶第1590回例会出席状況 (R元年7月11日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	6名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	50
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	64.00%



中目公英会長

堀田一彦副幹事

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長



皆さん、こんばんは。忙しいところご参加ご出席いただきましてありがとうございます。さて、我が白河では白河市長選、並びに白河市議会議員の選挙が終わりまして、町中に静けさが戻ってまいりました。市長は鈴木和夫さん。それから、議員も新しい方々が当選をなさいました。我がクラブからは3人立候補されていましたが、お二方がご当選、残念ながらお一人が落選というふうなことでございます。これも審判でございまして致し方ないところではあるかと思いますが、ことロータリーに関しましては政治とロータリーは全く別物でございまして、ノーサイドということでお三人さん皆揃って例会のほうに出席してもらえれば大変ありがたいと思っております。今日は阿部さんに来ていただきました。本当にありがとうございます。また、ロータリーを楽しくやりましょう。よろしく願いいたします。さて、このところ梅雨の天候でどんよりとした日が続いております。今年の今頃はもうそろそろ梅雨が明け、生命に関わるような危険な暑さであるというふうな話をよくテレビから聞いておりましたが、今年はそれとは全く逆で日照不足と低温で農作物をはじめ大変難しい状況になっているというふうなことを聞くようなことであります。多分、皆様方の奥様方も女性の方々もスーパーに行くと野菜が高いとかって言いながらこの頃過ごされているのではないかと思っておりますが、あと10日くらい過ぎれば7月20日くらいになると恐らく梅雨が明けるのではないかと思っております、もう少しの我慢ということであります。この梅雨の寒さで体調を崩さないように皆様注意をしていただければと思います。さて昨



週、私の会長方針を受けまして今日から2週に渡りまして各委員会の皆様方の私の年度の事業計画を発表させていただきます。私のつたない会長方針のもと、それぞれの委員長さん委員会でいろいろと揉んでいただきまして豊かに実り多く肉付けをしていただきましたから、それぞれの委員長さんほうから今年度の活動につきまして発表を楽しみにしたいと思っております。簡単ではありますが、以上お話をさせていただきます。会長の時間とさせていただきます。

■幹事報告

堀田一彦副幹事



- 国際ロータリー第2580地区ガバナー 橋本博司：第18回ロータリー全国囲碁大会案内状配布のお願い
- 県南地域人材育成推進協議会：令和元年度総会の開催について
- 白河国際交流協会：令和元年度白河市国際交流協会総会資料及び会報の送付、並びに会費納入のお願いについて
- 石川RC：年次計画書
- 米沢中央RC：年次計画書

■委員会報告

○前年度出席委員会
～出席優秀者の表彰～

渡部勝也副委員長

- ・100%皆出席の方
永野文雄会員
- ・1回だけお休みの方（98%）
青木大会員、渡部勝也会員
- ・2回だけお休みの方（96%）
安部和夫会員、藤田龍文会員、成井正之会員
鳴島三夫会員、山口治会員、石部辰雄会員



■本日のプログラム

五大部門、小委員会、年度計画

○S A A

吉田充 S A A



皆さん、こんばんは。S A A、会場監督ということで一年間皆さんにお世話になりながら一生懸命努めたいと思います。よろしくお祈いします。本年度は、中目会長の「人々が手を取り合うのを促そう」に基づいてS A Aの仕事を全うしたいと思います。内容としては、会長、幹事と各委員会との連携を円滑に例会運営をするということと、クラブ訪問者と来賓の方々にきめ細やかな配慮をして設営したいということ

でございます。会場監督ということなので、例会の出欠も含めてちょっと皆さんにご協力をお願いしたいと思います。出欠の連絡を昼例会だと2時間前なので10時くらい。午後例会だと4時くらいまでに

出欠のご連絡をいただければ、第一ホテルさんのほうで食事のほうの準備等人数確認してできるということなので、よろしくお祈いしたいと思います。とにかく楽しく一年間過ごしていきたいと思ひますので、一つ皆さんのご協力をお願いいたします。

○クラブ奉仕委員会 I

吉野敬之委員長



クラブ奉仕委員会 I のほうを担当させていただきます吉野でございます。本年度の当委員会は、会員増強委員会、出席委員会、ロータリー情報委員会、中長期戦略策定委員会の四委員会

で構成されております。中目会長の「共に手をつなごうロータリーのもとで」というクラブ目標達成のため、各委員長と連携協力しそれぞれの委員会が活発に活躍できるようにサポートをしてまいりたいと思ひしております。また、わたくし自身は会長エレクトとして我がクラブの活動全般に目を向け中目会

長を補佐しつつ、来たる35周年をつつがなく迎える準備を整えながら活動に励んでいきたいと思ひしております。皆様にはご協力のほどをよろしくお祈いいたしますということで、次年度35周年を迎えるにあたりましてこの秋頃から、前回30周年の活動のほうを参考にいたしまして今年

の秋くらいから徐々に来年に向けての組織作り、さらには内容決定、日程決定等々を皆様のお力添えをいただきながらつつがなく進めさせていただきたいなというふう

に思ひます。詳細につきましては、時期が参りましたら皆様のほうに個別にお願いをいろいろさせていただくことになるかと思ひますけれども、是非西クラブ全体のために成功させようという一つの旗印のもとに頑張

って皆様のお力をお貸しいただきたいというふうに思ひしております。それ以前に、今申し上げましたように中目年度が素晴らしい年度になるように精一杯協力させていただきたいというふう

に共に汗を流したいというふうに思ひしておりますので、一年間よろしくお祈いいたします。

○クラブ奉仕委員会 II

鈴木孝幸委員長



皆さん、こんばんは。今年度、クラブ奉仕委員会 II の委員長を仰せつかりました鈴木孝幸でございます。委員会

単体組織としては、委員も私一人のちょっと微妙な感じの委員会なんですけれども、今年一年職務を全うできるように頑張りたいと思ひますのでよろしくお祈いいたします。クラブ奉仕委員会 II は、須藤正樹委員長の親睦委員会。そして、櫻岡敏之委員長のプログラム委員会。安部和夫委員長の雑誌広報委員会。佐藤幸彦委員長のクラブ会報委員会。鈴木典雄委員長の I T 委員会。山田顕一郎委員長のスマイルボックス委員会。青木大委員長のシスター委員会。以上、7つの委員会で構成されてお

りまして、まさにロータリーの活動の中心となる委員会であります。各委員会が中目会長の掲げるクラブテーマであります「共に手をつなごうロータリーのもとで」という内容を具現化できるように様々な面から委員会をサポートしてクラブ全体を盛り上げていきたいと思ひしております。皆様のご協力をお願い申し上げまして、クラブ奉仕委員会 II の活動計画といたします。

○職業奉仕委員会

小林仁一委員長



皆さん、こんばんは。今年度、職業奉仕委員会の委員長を仰せつかりました小林と申します。副委員長に小林義勝

会員、委員に遠藤敦会員、関谷亮一会員、佐川京子会員、以上のメンバーで一年間進めていきます。本年度は会長方針を踏まえながら、職業奉仕に対する理解を深めクラブの活動と職業を通じて職業奉仕の実践、行動へと繋げていきたいと思ひ

ます。企画イベントを実施しながら、会員皆様の参考になるような企業、または施設訪問を実施していきたいと考えております。今現在、まだ最終決定ではないんですが一応二つ三つ案がございますので、皆さんの意見も聞きながらまとめていきたいと思っております。一つはもと白河集古苑、小峰城歴史館と名前が変わってましてリニューアルオープンしております非常に見応えがあるというところで今一つの案になっております。それから、いろいろ皆様の意見等々を聞きながら私の中から抜粋した二つめの案としましては、大信にあるヤフージャパンのデータセンター。こちらはこのIT時代の中で日本最高峰の最新鋭の設備施設が見学可能と聞いております。それから三つめは今、渋谷栄一さんが話題になっておりますが、論語とそろばんの勉強会。これはまだ会長には相談してないんですが、南湖神社で何か勉強会プラスアルファで出来ないかなあと考えております。皆さん楽しみにしててください。

○社会奉仕委員会

齋藤孝弘委員長



皆さん、こんばんは。今年度、社会奉仕委員会の委員長を仰せつかりました齋藤です。一年間よろしくお願ひいたします。今年度から社会奉仕委員会は単独の委員会ということで単独の事業をさせていただきたいと思っております。環境保全委員会からの流れを受けて、那須甲子自然の家のロータリーの森の現状視察を兼ねた移動例会を計画しています。委員会で現状を視察後、新たな記念碑を作るか現状の記念碑を整備保全するかなどを検討して事業に繋げたいと思っております。青少年育成につきましては、ロータリー財団の資金の申し込みを行い、白河市内の小学校の教育費の現状を調査し、物品等の譲渡をしたらどうかということを考えております。例としましては、楽器の修理と購入に非常にお金がかかってなかなか修理できないというのが現状らしく、主に楽器の修理代かもしくは新しい楽器の購入などにもし可能であれば充てたいなと思っております。移動例会につきましては、年の明けて雪解けの季節で新緑の季節に、甲子温泉のほうで出来れば泊まりながらお酒を酌み交わしながらロータリー談議をしたいなと思っております。

○国際奉仕委員会

堀田一彦副委員長



国際奉仕委員会の副委員長の堀田でございます。委員長の藤田会員がぎっくり腰のために、一步も動けないということで急遽欠席になりましたので、私のほうから活動計画のほうを読み上げます。国際奉仕委員会は委員長に藤田会員、副委員長にわたくし堀田、委員に富永会員、緑川会員、居川会員、三瓶会員の6名で活動を行ってまいります。本年度の活動計画として、グローバルサポート、在日外国人との交流、国際交流活動への参画及び支援を行う。また、地域貢献はもとよりロータリーインターナショナルへの貢献も積極的に行うとなっておりますが、藤田委員長のことなので恐らく東南アジア方面で一度か二度多分交流事業は行うと思っておりますので、その際には皆様のご協力のほうよろしくお願ひします。

○青少年奉仕委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんばんは。今年度、青少年奉仕委員会の委員長を賜りました村上堅二と申します。一年間、よろしくお願ひいたします。奉仕委員会は昨年度青少年育成という形のものや青少年奉仕というものが合体してできた新しい委員会であります。内容的には青少年育成と奉仕の両方の分野を兼ねると思っておりますので、一年間、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。最初に、まず委員長わたくし村上でございます。副委員長が松永会員、湊会員、山口会員、島田会員、鶴丸会員となりましたのでよろしくお願ひいたします。一年間の内容としては、今回中目会長のほうからお話があったように「共につながろうロータリーのもとで」という形の基本方針のもとに、子供たちの育成を通していろんな活動をしていきたいと思っております。まず一つめにあるのは、インターアクト、ローターアクトの支援。そして、RYLA研修への支援、今回は参加を何とかさせたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。それから、CKBチャレンジ県南ベースボール中学野球大会開催の支援。あと青少年活動の支援。そして、青少年の各プロジェクトを通してロータリークラブへの理解と理念の浸透を図る。簡単に言うと、一般の方がなかなかロータリーってどんな団体とか、いろんなこ

と聞かれるのが多くなっております。野球なんかでもロータリーがいろんな意味で後援して何とか知名度を増してきたところがあるので、青少年育成の活動の中にできればロータリーの名前を出しながらいろんな形でロータリーを広報していきたいなと思っております。一年間、よろしくお願ひいたします。

○会員増強委員会

高島裕委員長



会員増強委員会は、委員長わたくしと副委員長に堀田一彦会員、委員に運天直人委員、佐川京子委員、根本あゆみ委員の5名で進めていきたいと思っております。会員増強の4文字を読むと、会員が増えることはクラブが強くなることと理解すると同時に、会長方針の「共に手をつなごうロータリーのもとで」を基本に、若い世代をはじめ多くの方面に増強を試みたいと思っております。目標としては、女性1名を含めた純増2名を設定していきたいと思っております。なるべく範囲の広いところで探していきたいと思っておりますので、皆さんのほうからこういった方がいらっしゃいますよということがあれば、さらに我々のほうでお話をしに伺いたいと思っております。2名以上獲得できますよう一生懸命一年間頑張っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○出席委員会

阿部克弘委員長



出席委員会の年度の活動計画をさせていただきます。委員長に、わたくし阿部克弘。副委員長に石部会員。委員に大住会員、それから鶴丸会員と4名で今年度はやっていきたいと思っております。中目・兼子年度のクラブ活動目標の重点活動目標である「人々が手を取り合うのを促そう」の中の会員同士で繋がる。食事等例会を楽しくして出席率を高めよう。新ソングを楽しく歌おう。家族の参加を増やそうを実現するには出席委員会として出席向上の対策はもとより、プログラム委員会及び親睦委員会との連携を図り、一つの委員会単独ではなく一体感をもって出席率を上げていくことが重要と考えております。そのためには、まず一として、出席率の向上の対策として、1、無断欠席をなくするためには出欠ボード、メール、ファックスを積極的に活用すると

いうことですね。2番目に、メーカーの奨励としてメーカー月間等を作る。3番目として、出席率100パーセント例会の開催を考へておまして、プログラム、親睦委員会と連携を図ってまいりたいと思っております。4番目に、出席率100パーセント会員の表彰。これは3名を確保したいなというふうに思っております。5番目にスリープ会員の例会出席を図るということで、訪問や電話等による動機づけをしてまいりたいというふうに考へておまして。二番目に、プログラム、親睦委員会との連携を図りまして出席率向上を目指していきたいと思っておりますので、どうか一年よろしくお願ひいたします。

○ロータリー情報委員会

成井正之委員長



皆さん、こんばんは。本年度、ロータリー情報委員会を受け持ちました委員長の成井正之です。副委員長に山口治さん。それから、委員に鳴島三夫前会長、そして委員に永野文雄パスト会長で4人でやらさせていただきます。ロータリー情報委員会は、全会員に対してロータリーの知識と理解を広げるような情報を伝えることにあります。近年、R I 規定審議会での柔軟性を取り入れるという変革や2530地区の運営方針にも改革が見られ、クラブごとに定款やそれからクラブ細則も見直しを求められるようになっております。そのような中で2530地区の運営委員会の情報や地区大会の出席向上、そしてIMの積極的な参加を促したいと思っております。特に新入会員で3年未満の方は、皆さん全員にロータリーの基本であることを十分理解していただくためにパートナーシップを取り入れて、新入会員と推薦者をしている方と一緒に出席していただいて勉強し知識を学んでいただきたいなと思っております。そういったことで活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

○ロータリー財団委員会

金田昇委員長



皆さん、こんばんは。今年度、ロータリー財団委員会の委員長を務めさせていただきます金田です。委員会構成としては、副委員長に永野文雄さん。それから、委員として遠藤敦さん、池田浩章さん、矢田部錦四郎さんということで5名で財団委員会を

やっけてまいります。まずは表記の活動計画を読み上げさせていただきます。ロータリーのビジョンである、世界で地域社会でそして自分自身の手の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指すということを実現するために、地区財団活動資金DDFを十分に活用し、地区補助金、グローバル補助金など、地域社会及び海外でのプロジェクトを積極的に行う必要があります。そのためには、クラブのすべての会員がその意味を理解し、地区資金の活用と財団への寄付を積極的に行うことが必要だと思います。今年度、ロータリー財団委員会では会員各位に寄付の重要性を理解していただき、目標を定めて募金活動を進めてまいります。また同時に、DDF地区活動資金の積極的活用に向けた研修と実践を行います。DDFに関しては今年度はもう締め切っていますが、追加で出来るものがあるかどうか地区のほうの財団委員長と連絡を取り合いながら追加での資金のお願いできればいいと思いますし、また来年度以降の社会奉仕活動等々にDDFが使えるように次年度と連携しながら勉強会を進めてまいりたいと思っております。目標としまして、寄付に関してなんですけどここちょっと重要なんですけど、ここ何年間で議論してきましたクラブ会員の全員から寄付をして特別寄付ということで、年3,000ドルを目標にしたいと思っております。約60名ですので、一人当たり50ドルくらいですか。5,000円弱くらいを会費の中からご負担いただいて、それをまとめて財団に寄付していくということにしたいと思っております。この個人個人の寄付した金額は一人一人のIDの中に入ってきますので、それが積み上がった段階でポール・ハリスからの表彰とかそういうものもありますし、個人の寄付の金額は必ず把握されているということをご理解いただきたいと思います。それで3,000ドル。それから、ポール・ハリス・フェローとしまして従来通り1,000ドルの寄付者を最低3名、募集かけていきたいと思っております。トータルとしてクラブとして6,000ドルの寄付を行いたいというふうに考えておりますので、皆様の中で志のある方、また地域貢献、社会貢献、国際貢献に是非寄付をしたいという方、志のある方は是非この機会に申し出ただけであればありがたいというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

また、目標の中の活動としましてDDF、地区財団活動資金の活用のためのプロジェクト企画ということで、地区の2530地区の担当の方とか活動を行った経験者の方なんか卓話をお願いするなどして啓蒙活動を進めていきたいと思っております。いずれにせよ、お金の絡むことで皆さんに頭下げたりお願いすること沢山あると思いますので、是非皆さんからご理解をいただき国際ロータリークラブが何故存在するのかということをご理解いただき、そのための財団にご寄付に対してご理解いただくことをお願い申し上げて、今年一年の活動計画とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○親睦委員会

須藤正樹委員長



親睦委員会の委員長を仰せつかりました須藤正樹です。副委員長には、松永会員。委員に、諸橋会員、車田会員、根本会員、横田会員、宗像会員、鈴木信教会員、鶴丸会員、上杉会員、大竹会員がいます。会員、会員家族がさらに親睦を深められるような設営。また、地域の他団体とより一層交流を図れるような設営を行います。委員会メンバーが一丸となって頑張ります。一年間よろしくお願いいたします。活動内容としましては、誕生日、結婚記念日のお祝い企画。ホームミーティングの設営。納涼例会の企画運営。JC・YEGとの交流親睦会の企画運営。クリスマス例会の企画運営。三クラブ合同新年会の企画運営。観桜会の企画運営。会長・幹事慰労会の企画運営。月末親睦例会の企画運営。その他、親睦会の設営となっております。一年間、頑張りますのでよろしくお願いいたします。